

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	音楽活動事業				事務事業コード	01803	
部名	学校教育部	課名	教育指導課	係名	—	部課コード	110300

1. 事業概要

総合計画コード	3141				
事業年度	年度 ~	H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市小・中学校音楽鑑賞会事業企画案評価要領 朝霞市吹奏楽・器楽フェスティバル実行委員会会則	
めざす目的成果	音楽を愛する心情が育ち、人間性豊かな児童生徒や市民が育成されている。				
事業内容	朝霞市小・中学校音楽会、朝霞市小・中学校音楽鑑賞会、朝霞市吹奏楽・器楽フェスティバルを実施する。ミュージカル「こころの劇場」を開催する。				
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 小・中学校音楽主任研修会との連携により、朝霞市小・中学校音楽会を実施する。プレゼンテーションにより委託業者を選定し、朝霞市小・中学校音楽鑑賞会を実施する。実行委員会を組織し、朝霞市吹奏楽・器楽フェスティバルを実施する。				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		小・中学校音楽主任研修会との連携により、朝霞市小・中学校音楽会を実施した。プレゼンテーションにより委託業者を選定し、朝霞市小・中学校音楽鑑賞会を実施した。実行委員会を組織し、朝霞市吹奏楽・器楽フェスティバルを実施した。					
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込		
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		3,157	3,334	3,315		
	財源内訳	[イ]国庫支出金					
		[ロ]県支出金					
		[ハ]地方債					
		[ニ]その他					
		[ホ]一般財源	3,157	3,334	3,315		
b 人件費		6,595	6,962	6,962			
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		9,752	10,296	10,277			
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.90 人	0.95 人	0.95 人		
		一般職非常勤職員等(時間)					
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		報償費 332千円 需用費 374千円 委託料 2609千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度	
活	①	音楽事業の事業数	事業	3	3	3	3
				(3)	(—)	(—)	H 32 年度
動	②	吹奏楽・器楽フェスティバルの参加団体数	団体	13	13	13	13
				(12)	(—)	(—)	H 32 年度
成	①	吹奏楽・器楽フェスティバルの入場者数	人	680	680	680	680
				(658)	(—)	(—)	H 32 年度
果	②						
			()	(—)	(—)	H 年度	

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input type="radio"/> A 必要性が高い	<input checked="" type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 情操教育充実のため、児童生徒及び市民が質の高い芸術に触れる機会を提供し、芸術を愛好する心情を育成するために不可欠である。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明:指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 小中学校音楽会では、他校の演奏や合唱を聴くことで、音楽への関心や意欲を高めることができた。 音楽鑑賞会では、生のオーケストラ演奏を通して、楽器が本来持つ音や、質の高いプロの演奏に触れることができた。 吹奏楽・器楽フェスティバルでは、20回目を市制施行50周年記念事業の一環として実施した。参加団体も増え、幅広い年代の参加者・入場者により盛大な演奏会となった。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明:留意した点について記入>			
	思いやり:音楽鑑賞会の選曲決定に際して、音楽主任会の意見や児童生徒の様子を参考に進めた。 参加と協働:吹奏楽・器楽フェスティバルについては、実行委員会と事務局との連携を意識して進めた。 経営的な視点:吹奏楽・器楽フェスティバル実行委員会会則に基づき、出演者の演奏の質が向上するように努めた。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 吹奏楽・器楽フェスティバル実行委員の主体性を確保し、市民が作り上げる音楽祭として更に充実した取組を目指したい。また、音楽鑑賞会においては、オーケストラの人数をより多くして、迫力のある演奏を聴かせたいが、予算にも限りがあるため、現状での最大規模の構成としている。質的向上のためにも演奏委託料の設定金額について見直しを行いたい。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input checked="" type="radio"/> A 拡大	<input type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H 年度)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H 30 年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H 年度)	
<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大		(実施時期 : H 年度)		
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期 : H 年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(実施時期 : H 30 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	音楽鑑賞会においては楽団員の人件費高騰により、質の高い芸術を提供することが難しくなってきた。より質の高い芸術を提供することは児童生徒の情操教育のためには重要であり、縮減されているオーケストラの編成の増員および委託費の設定金額を見直す必要がある。 小・中学校音楽会および吹奏楽・器楽フェスティバルについても平成29年度は市民会館の耐震工事の為、例年の時期での実施が困難になっている。実施の在り方や有無を含めて検討していく必要がある。			